

平成 22 年 8 月 吉日

各位

高気圧酸素治療安全協会
協会長 鎌田 桂

平成 22 年度教育セミナーのご案内

拝啓 貴下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

高気圧酸素治療安全協会は日本高気圧環境・潜水医学会の下部組織として、高気圧酸素治療の保安と安全性に関する調査、研究、指導、教育を目的に活動しております。事業の一環として、毎年、各地で高気圧酸素治療に関するセミナーを開催しておりますが、本年は北海道・札幌市での教育セミナーを 10 月 24 日（日曜日）、札幌市産業振興センターに於いて日本高気圧環境・潜水医学会、同学会北海道地方会、北海道医師会、北海道臨床工学技士会のご後援により「日本医師会生涯教育講座」として、開催することとなりましたのでご案内を申し上げます。

高気圧酸素治療は潜水や圧気作業による潜水病、減圧症の治療、また一酸化炭素をはじめとするガス中毒には必須の治療手段であるとともに、難治性疾患に対しても従来の治療を凌駕する治療方法として世界的に認められ、本年度の診療報酬の改正に伴い救急的な疾患として壊死性筋膜炎又は壊疽性筋膜炎が追加されました。またスポーツ医学の分野にも応用範囲が拡大されております。日本でも既に 600 を超える施設で治療が行われ、多くの患者様が恩恵を受けております。本治療は、大気圧より高い高気圧環境下で高濃度の酸素を投与する特殊環境での酸素治療であるため、治療上の安全性ばかりでなく装置の保守、操作についても正しい知識の習得による安全確保が求められます。

本セミナーでは高気圧酸素治療に関連する基礎的な問題をはじめとして最新の医学情報をお伝えするとともに、治療の安全性に直結する管理や操作方法について各演者に講演していただく事になっております。

本治療に従事されている医師、看護師、臨床工学技士の方を始めとして、現在、潜水や高気圧作業に従事されている方、また救援活動に従事されている方、将来この分野に進まれる事を希望しておられる方、一般の方々にも有意義なセミナーであり、社会に貢献できるセミナーであると確信しております。

講演の最後には、会場の皆様からのご質問やご意見をお受けする“Q&A”タイムを設けております。この機会に是非ともご出席いただき高気圧酸素治療に対するご理解と、一層の安全な治療に寄与していただきたく、ご案内申し上げます。

敬具

教育セミナー安全な高気圧酸素治療のために

(北海道医師会 生涯教育講座認定)

主催	高気圧酸素治療安全協会
共催	日本高気圧環境・潜水医学会 北海道地方会
後援	日本高気圧環境・潜水医学会 北海道医師会 北海道臨床工学技士会
日時	平成22年10月24日(日) 13:00~17:00 (受付12:30~) (北海道地方会は午前中・詳細は地方会の案内を参照ください)
会場	札幌市産業振興センター 〒003-0005 札幌市白石区東札幌5条1丁目1-1 TEL011-820-3033
申し込み	聴講の事前申し込み不要
聴講資格	不問
会費	無料

プログラム

- 1) 演題1. 「高気圧酸素治療の当院における安全管理」
講師 苫小牧東病院 画像診断科
栗林 晃子
- 2) 演題2. 「感染症に対する高気圧酸素治療」
講師 函館脳神経外科病院 脳神経外科
森脇 寛
- 3) 演題3. 「高気圧酸素治療の基礎と臨床」
講師 北海道大学病院 麻酔科
橋本 聡一
- 4) 演題4. 「減圧障害と再圧治療」
講師 防衛医科大学校 防衛医学研究センター
異常環境衛生研究部門
鈴木 信哉
- 5) 「高気圧酸素治療についての質疑応答」
回答者は講演者全員が対応いたします (敬称略)
(講師・演題・順番は都合により変更することがあります)

本セミナーは北海道医師会の承認を得て、「北海道医師会認定生涯教育の一環として」行う
ものであります。「取得単位4単位」

カリキュラムコード：1(専門職として使命感)、2(継続的な学習と臨床能力の保持)、
5(医師—患者関係とコミュニケーション) 8(医療の質と安全) 10(チーム医療) 17(急性中毒)
35(けいれん発作) 61(関節痛)

受講証の交付には受講者氏名と医籍登録番号が必要です受付で必ず出席簿に記入ください。
※ご記入いただきました情報は、本教育セミナーの報告書作成以外には使用いたしません。

尚、日本高気圧環境・潜水医学会の会員の皆様には日本高気圧環境・潜水医学会認定「高気圧酸素治療専門医認定規則」「臨床高気圧酸素治療技師認定規則」の生涯教育単位が取得できます。

必要な方は終了後受付にて学会会員番号と氏名を記入し参加証をお受け取りください。

アクセス

■札幌市産業振興センター

札幌市白石区東札幌5条1丁目1-1

Tel 011-820-3033 / Fax 011-820-3220

■公共交通機関（最寄駅）

地下鉄東西線「東札幌駅」から徒歩7、8分

JRバス停留所「中央1条1丁目」（国道12号線）から徒歩7、8分

JRバス停留所「札幌コンベンションセンター」から徒歩3分

注）「札幌コンベンションセンター」は発着本数が少ないので時間をお調べのうえ、ご利用ください。

■駐車場（有料）

利用台数に限りがありますので、出来るだけ公共交通機関をご利用ください